

「発達に課題を抱える子どもの理解と支援」コース			
<p>【概要】この講義では、子どもに関わるうえで大切な子どもの発達の理解と、発達障害の理解を深めるための内容を、具体的に理解してもらえような講義を行います。</p> <p>まず、乳幼児期から思春期にかけての子どもの発達について解説します。その知識をもとに、発達障害の特徴と、成長を促すための介入方法のひとつである行動療法を説明し、その理論に基づくペアレント・トレーニングに関して説明します。一つ一つの考え方、技法などを具体的な事例やビデオ教材などを用い紹介して解説していきます。</p> <p>ほめて育てるということは知ってはいても、具体的にどうしたらいいのかわからず悩んでいらっしゃる方はとても多いです。そのような方のために、子どもの行動の見方や考え方、具体的な対応の方法を説明します。</p> <p>【対象】保育園児、幼稚園～小学生までの子育て中の方、乳幼児～児童と接する仕事に携わっている方で、子どもとの関わりにくさ、育てにくさを感じている方。小学生までの子どもの発達における課題に興味のある方等。</p> <p>【本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等】</p> <p>子どもを正しく理解し、その行動を正しくとらえ、適切な対応ができる知識・技能を身に着けるため、行動療法に基づく考え方や技法を学習します。</p> <p>【講師】</p> <p>伊藤 啓介（広島国際大学 客員教授/広島国際大学心理臨床センター指導相談員）</p> <p>森 陽二郎（広島国際大学 教授/広島国際大学心理臨床センター指導相談員）</p> <p>【定員】30名</p> <p>会場：呉キャンパス</p>			
日時		講座名	講座内容
1	5月16日（土） 13：00～14：30	発達の課題を生涯発達の視点から考える （森 陽二郎）	発達に課題を抱える子どもを、生涯発達の視点からとらえ直します。 子どもの現在の姿を、将来にわたる成長の過程として理解し、豊かな育ちを支えるためにどのような支援が求められるかを、実際の事例をもとに考察します。
2	5月16日（土） 14：40～16：10	愛着の形成と発達支援 （森 陽二郎）	発達支援においては、対人関係の基盤となる情動発達と愛着形成の理解が欠かせません。 愛着がどのように形成され、どのようにその後の発達に影響するのか、そのプロセスと仕組みを分かりやすく解説します。
3	5月23日（土） 13：00～14：30	ペアレント・トレーニングの基本的な考え方 （伊藤 啓介）	発達障害に関する正しい知識のため、発達障害の具体的な障害の特徴を説明します。また、ペアレント・トレーニングの基本的な考え方である行動療法について説明します。
4	5月23日（土） 14：40～16：10	行動理論に基づく介入のために必要な観察と記録 （伊藤 啓介）	行動理論に基づく介入のため、なぜ観察・記録が重要であるかを解説します。どの様に観察・記録をするのかを具体的な例を用いて解説し、その記録をもとにした行動分析の方法を教示します。その分析をもとに目標行動の設定のポイントを説明します。
5	5月30日（土） 13：00～14：30	強化とは何か （伊藤 啓介）	行動変容を考えるときに最も重要は技法である強化について説明します。強化とは何か、強化子とは何か、強化子を用いるときの留意点はどのようなものがあるかを説明し、強化スケジュールについても説明します。
6	5月30日（土） 14：40～16：10	トークンエコノミーについて （伊藤 啓介）	強化方法のひとつの技法であるトークンエコノミーについて教示します。強化対象に合わせることの重要性を説明し、具体例を示しコツや配慮点を説明します。
7	6月6日（土） 13：00～14：30	事例をもとにしたワーク （伊藤 啓介）	様々な問題を抱えた子供たちの事例をもとに、その対応方法等を考えてみましょう。その後コメントしたいと思います。
8	6月6日（土） 14：40～16：10	環境の整え方 （伊藤 啓介）	発達障害の人にとって環境を整えることがどのように有効か、重要であるかを説明します。物理的構造化、時間の構造化などを説明し、環境調整することで行動がどのように変容するか具体例を用いて講義します。
9	6月20日（土） 13：00～14：30	消去の手続き （伊藤 啓介）	行動を減少・消去するためのテクニックである、消去の手続きについて述べます。計画的無視などの方法を、具体例を用いて説明し、理解を図ります。 また、強化の利点と罰の欠点を教示します。
10	6月20日（土） 14：40～16：10	外出先での工夫・対処法 （伊藤 啓介）	ここまでのまとめ・復習を兼ねて、外出先でどのように対処するかを講義します。外出先での難しさを説明し対策の重要性を強調します。

<p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当コースは、連続して受講いただくことで体系的な知識が身につくことから、できるだけ続けてご出席お願いいたします。</li><li>・8割以上（8回/10回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。</li></ul>
--